

# 釈迦堂遺跡

甲斐国千年の都

(縄文の千年)



笛吹市

釈迦堂遺跡は、山梨県笛吹市一宮町と甲州市勝沼町にまたがる京戸川扇状地の扇央にあります。縄文時代早期末から後期初頭に営まれた大集落跡です。特に縄文時代中期頃（約五千年前から四千年前）の遺構・遺物が多いへん多く出土しました。土偶は1116個体と全国有数の出土数で、土偶にまつわる祭祀や製作法を探るうえで重要な遺跡として注目されています。現在、この場所には中央自動車道が建設され、出土品は隣接する釈迦堂遺跡博物館に展示されています。



釈迦堂

地域の縄文の力  
今ここに甦る！



写真 / 釈迦堂遺跡  
発掘調査風景



## 発掘 調査

## 概要

釧路堂遺跡は中央自動車道の建設に先立ち、昭和55・56年に発掘調査が行われました。釧路堂遺跡は、発掘調査の範囲で発見された塚越北A地区・B地区・釧路堂地区・三口神平地区・野呂原地区の5つの遺跡群からなる総称です。そのため、釧路堂遺跡群と呼ばれることもあります。

発掘調査では旧石器・縄文時代早期末から後期初頭・古墳・奈良・平安時代の遺構・遺物が見つかりました。縄文時代の竪穴式住居跡は255軒、土坑は約1200基検出され、縄文土器は30トンを越える膨大な量をほこります。このほか土偶1116個体、石器や土製品・装飾品など、縄文時代の人々の生活がいきいきと残されています。なお、平成17年には、釧路堂遺跡の出土品5599点が国重要文化財に指定されました。

# 縄文時代に営ま



発掘調査の様子



竪穴住居跡の様子



土器出土状況



土偶出土状況



釣手土器出

修復

# れた大規模集落

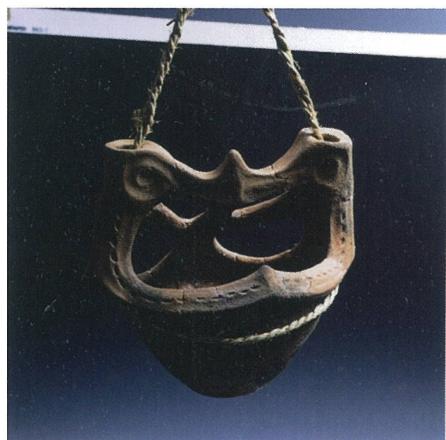
出土した30トンもの縄文土器から、この地域の豊かな立体装飾の文様変遷をたどることができます。中期には、体の長い謎の生物を表現した抽象文や、人体あるいはカエルを表現した土器がつくられます。また、中期後半には渦巻文の立体的な装飾把手を大きく突出させた水煙文土器など、高い技術と芸術性がうかがえる文様の土器がつくられました。



人体文土器



水煙文土器



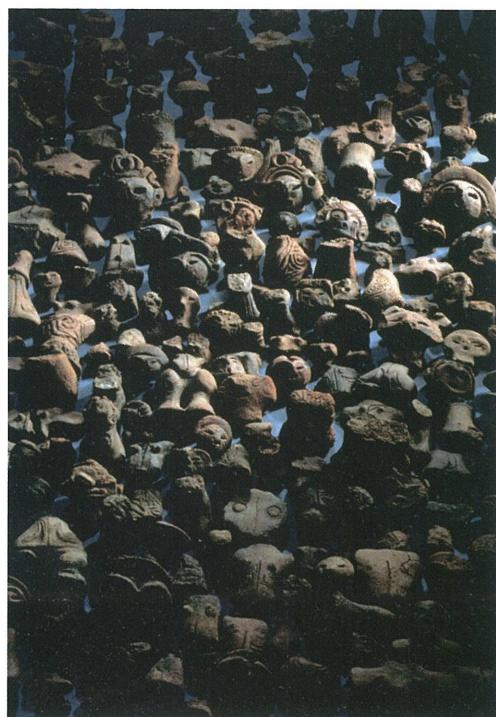
修復された釣手土器



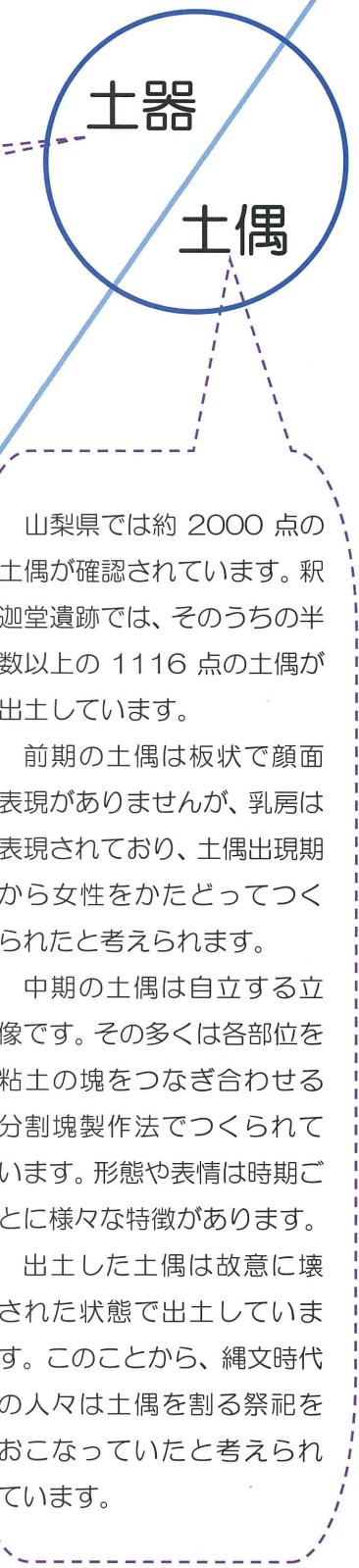
土状況



前期の土偶



釧路遺跡出土土偶



出産土偶



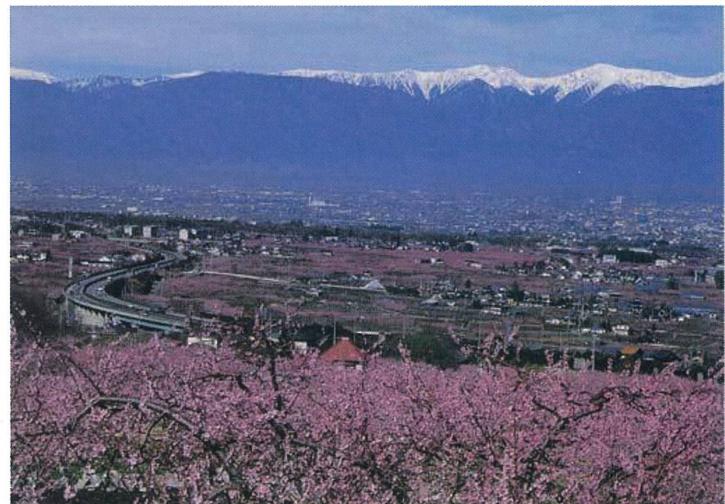
# 釈迦堂遺跡博物館を訪ねよう！



常設展示室の様子



常設展示室の様子



南アルプスの山々

□釈迦堂遺跡博物館ご利用の案内

- ・開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）・休館日 火曜日と祝日の翌日、年末年始
- ・入館料 大人200円 子供100円 団体（20名以上）大人160円 子供80円
- ・釈迦堂遺跡博物館 HP <http://www.eps4.comlink.ne.jp/~shakado>

□釈迦堂遺跡博物館への交通案内

- ・中央自動車道下り 釈迦堂PAより 徒歩2分
  - ・中央自動車道上り 釈迦堂PAより 徒歩10分
- ※中央自動車道釈迦堂PA（上り・下り）より徒歩でお越し頂けます。
- ・JR中央線 勝沼ぶどう郷駅下車 甲州市バス 釈迦堂入口下車 徒歩15分 タクシー約15分
  - ・一般道からのアクセス 国道20号線「石」信号を南へ2Km  
国道137号線「下黒駒北」信号を東へ4Km

□問い合わせ

- ・〒405-0054 山梨県笛吹市一宮町千米寺764 TEL 0553-47-3333 FAX 0553-47-3334

釈迦堂遺跡博物館は、中央自動車道の釈迦堂パーキングエリアのすぐ近くにあり、釈迦堂遺跡で出土した遺物等を展示しています。1階には特別展示室があり、2階は常設展示室となっています。縄文時代に関連したイベントも多く行われ、多くの来館者が訪れます。釈迦堂遺跡博物館からの眺めはとても美しく、南アルプスの山々と甲府盆地を一望することができます。特に桃の花が咲く季節には、一面ピンクの桃源郷と南アルプスの残雪がより一層の美しさを演出します。是非一度訪れてみてはいかがでしょうか。

## 周辺案内地図



笛吹市教育委員会文化財課

〒406-0031 山梨県笛吹市石和町市部 809-1 TEL 0553-261-3342 FAX 0553-261-3340

このスポットガイドは、文化庁の補助金を受けて作成しています。